

題 名	所 属	著 者
-----	-----	-----

「水路」第32号 昭和54年12月25日発行 本文52^レ-ジ

新年を迎えて	海上保安庁長官	真島 健
帆走商船の開発	日本舶用機器開発協会	浜田 昇
海潮流等の実態把握のための推進策について - 200海里海域の総合調査の推進 -	水路部海象課長	二谷 頼男
大型測量船の増強		測量船管理室
海洋法会議第8会期の概要	日本水路協会理事	寺井 久美
トリスポンダ測位システム	セナー(株)	酒井 章雄
水路測量の新しい方法 - I.H.Reviewから -	日本水路協会常務理事	長谷 實 訳
ジャバ島一周の思い出	元水路部長	松崎 卓一
明治初期(水路業務草創期)の水路誌について - そのルーツをたどる -	水路通報課	橋場 幸三
測量原図用大型カラー精密複写装置の研究開発	日本水路協会	鈴木 裕一
人事異動 54.9-12		

「水路」第33号 昭和55年4月15日発行 本文74^レ-ジ

海底調査の推進策について - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	水路部測量課長	茂木 昭夫
海洋測地の推進策について - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	水路部編暦課長	山崎 昭
水路業務法制定の経緯とその解説 1	元三管区水路部長	苛原 暲
「若狭湾の流れ」についての考察	八管区水路課長	山内 静雄
海を主体とした観測による地震予知へのアプローチ	沖海洋エレクトロニクス(株)	平野 正勝
海洋開発審議会の答申について	水路部監理課	岩根 信也
米国海洋資料センターを訪問して	海洋資料センター	吉田 昭三
水路部と私	元水路部長	松崎 卓一
水路図誌利用促進懇談会(海運関係)	水路部水路通報課長	中川 久
多素子垂直ソナーシステム(第17回UJNR海底調査部会論文)	日本水路協会常務理事	長谷 實 訳
水路測量技術検定試験問題 9 昭和54年度沿岸1級		日本水路協会
人事異動 55.4		
訃報 木村 進		

「水路」第34号 昭和55年7月10日発行 本文68^レ-ジ

海洋データの利用を拡大するための推進策について - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	海洋資料センター所長	徳弘 敦
海洋汚染調査の推進 - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	海洋汚染調査室長	杉本喜一郎
海洋法会議第9会期(ニューヨーク会期)の概況	日本水路協会理事	寺井 久美
第9回国連地域地図会議雑録		今吉 文吉
ケニア日食観測余録	編暦課補佐官	森 巧
1/5万沿岸の海の基本図の地質構造図について	国際航業(株)海洋部	杉山 明
水路業務の発展を祈念して(水路測量会総会での挨拶)	日本水路協会専務理事	沓名 景義
梅雨前線	元水路部長	松崎 卓一
海流通報(再開)20周年	水路部海象課長	二谷 頼男
自動画像処理システム(レスポンスシステム)の利用状況調査	日本水路協会常務理事	長谷 實
第10回国際地図学会議の開催	水路部海図課長	佐藤 任弘
水路業務法制定の経緯とその解説 2	元三管区水路部長	苛原 暲
水路図誌利用促進懇談会(水産関係)	水路部水路通報課長	中川 久
訃報 沖宗源之助, 小野三保		
水路測量技術検定試験問題 10 昭和54年度港湾1級		日本水路協会
人事異動 55.5-7		

「水路」第35号 昭和55年10月10日発行 本文68^レ-ジ

水路情報処理提供システムの開発整備について - 200海里海域の総合調査計画の推進 - ...	水路部水路通報課長	中川 久
マラッカ・シンガポール海峡統一基準点海図の共同作成第2次作業の開始	水路部海図課長	佐藤 任弘
地震活動と水中音響	主任水路測量官	大島 章一
海底観測の現状と展望	東京大学海洋研究所教授	友田 好文
水路部をご視察の皇太子殿下	水路部監理課	大津与四郎
「5万分の1沿岸海の基本図」表現の改正について	主任海図編集官	児玉 徹雄
水路業務法制定の経緯とその解説 3	元三管区水路部長	苛原 暲
潮流の強い海峡における船舶航行の安全と効率及び漂流予測・物質交換.....	海象課	小田巻 実
第47回FIG常任委員会	日本水路協会常務理事	長谷 實
水上機母艦“神威”便乗記	元水路部長	松崎 卓一
第3回国際水路測量技術者研修委員会 付:資格基準の一部訂正	日本水路協会常務理事	長谷 實
水路測量技術検定試験問題 11 昭和55年度沿岸2級		日本水路協会
人事異動 55.7-9		

「水路」第36号 昭和55年12月25日発行 本文57^レ-ジ

新年を迎えて	海上保安庁長官	妹尾 弘人
海図整備の推進方策(自動化の推進) - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	水路部海図課長	佐藤 任弘
座談会「これからの海洋調査のあり方」その1		日本水路協会
英国水路部の水路技術者研修制度	七管区水路部長	内野 孝雄
水路業務法制定の経緯とその解説 4	元三管区水路部長	苛原 暲
海洋法条約草案(非公式草案)の概要について 1	水路部監理課	稲野 季隆
南海地震津波調査の回想	元水路部長	松崎 卓一
水路測量技術検定試験問題 12 昭和55年度港湾2級		日本水路協会
訃報 田中和人, 須田鉄郎, 菅野義雄		

「水路」第37号 昭和56年4月10日発行 本文67^レ-ジ

座談会「これからの海洋調査のあり方」その2		日本水路協会
第10回国際航路標識会議の概要と統一浮標式について		日本水路協会
UJNR海底調査専門部会及び MRECC会議に出席して	水路部測量課長	茂木 昭夫
マラッカ・シンガポール海峡の航路整備の歩み	マラッカ海峡協議会事務局長	金子 昭治
中国版水路図誌について	日本水路図誌(株)	村松 吉雄
海洋法条約草案(非公式草案)の概要について 2	水路部監理課	稲野 季隆
思い出三題	元水路部長	松崎 卓一
水底の浮泥層に対する考察	元水路部技師	桑原 新
水路業務法制定の経緯とその解説 5	元三管区水路部長	苛原 暲
日本沿岸(太平洋側)における漂流について	大阪商船三井船舶(株)	水谷 亨
水路測量技術検定試験問題 13 昭和55年度沿岸1級		日本水路協会
人事異動 56.4		
訃報 松田		

題 名	所 属	著 者
-----	-----	-----

「水路」第38号 昭和56年7月10日発行 本文58ページ

調査技術及び機器等の研究開発と標準化 - 200海里海域の総合調査計画の推進 -	海洋研究室長	佐藤 典彦
空中レーザー測深システムについて	水路部参事官	杉浦 邦朗
水底境界層による音波の反射	オーシャン測量(株)相談役	桑原 新
大洋水深図 (GEBCO)	元水路部長	松崎 卓一
海洋法条約草案 (非公式草案) の概要について 3	水路部監理課	稲野 季隆
水路業務法制定の経緯とその解説 6	元三管区水路部長	苛原 暁
水路測量技術検定試験問題 14 昭和55年度港湾1級		日本水路協会
人事異動 56.6		
春の叙勲 井馬栄, 塚田友治		

「水路」第39号 昭和56年10月15日発行 本文72ページ

1980年代における海洋調査の推進方策について (運輸技術審議会答申の概要)	水路部監理課	木村 忠正
海と食料 - 食料危機時代到来に備えて -	200海里漁業問題研究所長	渡瀬 節雄
国際測量技術者連盟 (FIG) の概要と第16回大会 1	日本水路協会常務理事	長谷 實
水路測量技術者の国際資格基準の改定	七管区水路部長	内野 孝雄
水路業務法制定の経緯とその解説 7	元三管区水路部長	苛原 暁
秋田沖は観測の盲点	秋田県水産試験場長	加藤 治男
国際測地学協会 (IAG) 学術総会の日本開催について	編暦課	我如古康弘
水路業務創始以来の大事業 (水路測量会での挨拶)	前日本水路協会専務理事	井馬 栄
テキサス大学留学記 - 衛星レーザー測距と共に10か月 -	天文調査官	佐々木 稔
洞爺丸台風時の調査	元水路部長	松崎 卓一
沖縄 その1	元水路通報課補佐官	青木四海雄
人事異動 56.7-10		
水路測量技術検定試験問題 15 昭和56年度沿岸2級		日本水路協会
水路業務資料館完成		日本水路協会

「水路」第40号 昭和56年12月25日発行 本文72ページ

新年を迎えて	海上保安庁長官	妹尾 弘人
年頭に際して	海上保安庁水路部長	杉浦 邦朗
「宗谷」南極へ出航す	セナー(株)社長	島居辰次郎
南極観測の思い出	前水路部長	庄司大太郎
南極観測の思い出	第八管区海上保安本部長	堀 定清
極地で冷汗の出た思い出	水路部印刷管理官	渡辺 隆三
南極地域観測における水路部の活動と実績 1	主任海象調査官	菱田 昌孝
南氷洋の思い出 - 南氷洋捕鯨裏話	200海里漁業問題研究所長	渡瀬 節雄
国際測量技術者連盟 (FIG) の概要と第16回大会 2	日本水路協会常務理事	長谷 實
FIGに参加して	国際航業(株)	岩田 健治
FIG国際会議に参加して	沖電気工業(株)	岡野 譲治
ヨーロッパかけあき記	日本水路協会	秋元 穂
英国及び仏国におけるIALA浮標式の調査旅行報告	東京商船大学教授	巻島 勉
新南群島について	元水路部長	松崎 卓一
人工衛星による海面高測定の現状と将来	主任天文調査官	我如古康弘
沖縄 その2	元水路通報課補佐官	青木四海雄
水路測量技術検定試験問題 16 昭和56年度港湾2級		日本水路協会
秋の叙勲 佐藤富士達		
人事異動 56.11		

「水路」第41号 昭和57年4月10日発行 本文61^レ-ジ

南極地域観測における水路部の活動と実績 1	主任海象調査官	菱田 昌孝
水深の立体図	海洋資料調査官	束原 和雄
関東大震災と横須賀軍港	元産研社長	平野 正勝
潮汐・潮流予報の一表示法について	保安学校水路教官室長	筋野 義三
	海象課	桑木野文章
特設気象観測班を想う	元水路部長	松崎 卓一
水路測量技術検定試験問題 17 昭和56年度沿岸1級		日本水路協会
訃報 小林泰造, 北島国武, 浅井銀治, 山本豊松		
人事異動 57.4		

「水路」第42号 昭和57年7月10日発行 本文75^レ-ジ

国連「平和賞」の受賞		日本水路協会
第12回国際水路会議出席報告	海上保安庁水路部長	杉浦 邦朗
海図室から	海図課	中嶋 暉
第12回国際水路会議視察団報告	国際航業(株)	早川 音也
国際水路会議欧州視察団に参加して - マルセイユの旅 -	日本水路協会	鈴木弥太郎
IHO/FIG水路測量技術者研修諮問委員会出席報告	水路技術国際協力室長	内野 孝雄
訪中派遣団に参加して 1	東海大学教授	佐藤 孫七
友好訪華団に参加して	日本水路協会専務理事	沓名 景義
沿岸海域における海洋調査の重要性 - 緊急性課題	芙蓉海洋開発(株)	島野 次夫
ベーリング海へ	日本郵船(株)船長	中村 常男
雷雲測定機の実験	元水路部長	松崎 卓一
水路測量技術検定試験問題 18 昭和56年度港湾1級		日本水路協会
春の叙勲 梅田次昌, 関川精一, 平川忠夫		
人事異動 57.4-6		

「水路」第43号 昭和57年10月10日発行 本文84^レ-ジ

故川上喜代四氏を偲ぶ	海上保安庁水路部長	杉浦 邦朗
笹川会長に米国の上下院から感謝状贈呈		日本水路協会
海洋調査と港湾	日本水路協会技術顧問	吉村 真事
「高信頼度知能化船」と「造船ロボット」の研究開発 - 運輸技術審議会答申 -	運輸省船舶局技術課	
第49回FIG常任委員会	日本水路協会常務理事	長谷 實
中国海洋調査機関を訪問して	主任海洋資料調査官	吉田 昭三
水路測量に使用する精密測位システムの標準テスト実施要領	水路測量官	福島 資介
「塩分検定 - 標準海水」昔話	芙蓉海洋開発(株)	島野 次夫
「日本沿岸地名表」の刊行に当たって	水路通報官	九富 静馬
ラジオゾンデの開発時代	元水路部長	松崎 卓一
沖縄 - 首里でのこと -	元水路通報課補佐官	青木四海雄
訪中派遣団に参加して 2	東海大学教授	佐藤 孫七
音響測深補正表について	水路測量官	岡田 貢
南硫黄島三星岩測点標識測量検潮作業要領	巡視船うらが甲板長	赤木 恵一
水路測量技術検定試験問題 19 昭和57年度沿岸2級		日本水路協会
人事異動 57.6-8		

「水路」第44号 昭和57年12月28日発行 本文76ページ

新年を迎えて	海上保安庁長官	永井 浩
国際地球観測の経緯と水路部の活動	海上保安庁水路部長	杉浦 邦朗
国際地球観測年(IGY)から地球内部開発計画(UMP)まで	東京理科大学教授	歌代 慎吉
CSK(黒潮共同調査)と海洋資料センター	日本海洋測量(株)顧問	庄司大太郎
深海掘削の意義	水路部測量課長	佐藤 任弘
GDPからDELPへ	水路部編暦課長	山崎 昭
IGY海洋調査とWESTPAC	水路部海象課長	二谷 穎男
国際地球観測年(IGY)と南極観測	海洋汚染調査室長	塩崎 愈
水路要報総目次		水路部
陛下と拓洋	元水路部長	松崎 卓一
訪中派遣団に参加して 3	東海大学教授	佐藤 孫七
水路測量技術検定試験問題 20 昭和57年度港湾2級		日本水路協会
秋の叙勲 鈴木誠治, 吉見悌二		

「水路」第45号 昭和58年4月15日発行 本文66ページ

第10回国連アジア太平洋地域地図会議出席報告	水路部測量課長	佐藤 任弘
水路測量のためのIHO基準と深い水深値のための分類基準(第2版)について	測量課	測量指導係
アメリカにおける水路的リモートセンシング技術の開発努力	測量課	福島 資介 記
過酷な条件下における水路測量	主任水路測量官	中西 昭 記
38°線の内と外 - 板門店の回想 -	元水路部長	松崎 卓一
自動水路通報システムの通信方式	水路通報課	鈴木 讓 記
	水路通報課	中村 文男 記
水路測量技術検定試験問題 21 昭和57年度沿岸1級		日本水路協会
訃報 茂木昭夫		
人事異動 57.12~58.4		

「水路」第46号 昭和58年7月15日発行 本文68ページ

戦後の海洋調査と拓洋	水路部企画課長	渡辺 隆三
測量船拓洋	測量船拓洋機関長	溝口 功
ラバウル航海ノート - 若き日の拓洋 -	元測量船拓洋船長	大山 雅清
「拓洋」の活躍を顧みる	測量船拓洋船長	中川 久
「拓洋」とその海象観測の思い出	水路部海洋調査課長	二谷 穎男
「拓洋海山」とその測量について	水路部海洋情報課長	岩淵 義郎
旧拓洋に搭載された精密深海用音響測深機	測量船拓洋観測長	桜井 操
はじめての船上重力測定と拓洋	東京大学海洋研究所教授	友田 好文
第11回UJNR海底調査専門部会	水路部沿岸調査課長	佐藤 任弘
カナダ水路部創立100周年記念会議に参加して	主任水路企画官	八島 邦夫
私の趣味	日本水路協会専務理事	沓名 景義
水路測量協力会の歩み	元水路部長	松崎 卓一
水路測量技術検定試験問題 22 昭和57年度港湾1級		日本水路協会
人事異動 58.6		
春の叙勲 藤崎正治		
訃報 内野孝雄		
水路部内部組織の再編成について		水路部

「水路」第47号 昭和58年10月15日発行 本文56^レ-ジ

エル(EI)の恐怖 “エル・ニーニョ (El niño) について”	水産コンサルタント	渡瀬 節雄
国際測量技術者連盟(FIG)第17回大会について	日本水路協会常務理事	長谷 實
インドネシア日食について	航法測地調査官	金沢 輝雄
日本海中部地震津波と船舶(漁船・小型船)避航の一考察 1	東海大学教授	佐藤 孫七
水路測量で使用する電波測位機 1	主任海洋調査官	中西 昭
水路測量技術検定試験問題 23 昭和58年度沿岸2級		日本水路協会
西之島上陸作業等について	旧測量船拓洋船長	中川 久
Niagara Fall	元水路部長	松崎 卓一
訃報 藤野龍弥, 諸岡直己		
私の趣味 - 200年前の海図の切手 -	元水路通報課補佐官	青木四海雄
人事異動 58.7,8		

「水路」第48号 昭和58年12月25日発行 本文45^レ-ジ

新年を迎えて	海上保安庁長官	石月 昭二
新造大型測量船「拓洋」の処女航海	測量船拓洋船長	中川 久
日本海中部地震津波と船舶(漁船・小型船)避航の一考察 2	東海大学教授	佐藤 孫七
水路測量で使用する電波測位機 2	主任海洋調査官	中西 昭
水路測量技術者の国際資格基準の改訂 1		水路部企画課
スペクトラム拡散式船位測定装置の開発		明星電気(株)
アマチュアの見る海図	鳥羽ヨットクラブ会員	大橋 郁夫
秋の叙勲 菅原義蔵		
長官表彰 小野房吉, 下里水路観測所		
訃報 飲田久世		
水路測量技術検定試験問題 24 昭和58年度港湾2級		日本水路協会
人事異動 58.10		

「水路」第49号 昭和59年4月15日発行 本文48^レ-ジ

西ドイツ水路部における水路業務の自動化の現状	東京理科大学教授	歌代 慎吉
日本海中部地震津波と船舶(漁船・小型船)避航の一考察 3	東海大学教授	佐藤 孫七
水路測量で使用する電波測位機 3	主任海洋調査官	中西 昭
水路測量技術者の国際資格基準の改訂 2		水路部企画課
書評「海図の知識(三訂版)」	国際航業(株)	佐藤 一彦
海岸線情報の自動数値化	海洋情報課	束原 和雄
海岸線情報の自動数値化	(株)パスコ	中村 正治
水路測量技術検定試験問題 25 昭和58年度沿岸1級		日本水路協会
人事異動 58.12~59.4		
訃報 山川幾造		